

北村稔 (立命館大学名誉教授)

日中戦争の真実

日本はなぜ断罪されたのか？

aggressive war(侵略戦争)とは何か？

- 国際政治と戦争—是認されルール化されていた戦争
日本はなぜ断罪されたのか？aggressive war(侵略戦争)とは何か？
- 国際関係から見る日露戦争・日中戦争・大東亞戦争の連続性と葛藤
満洲問題、抗日統一戦線とコミンテルン、国民政府とドイツ、日本と英米の摩擦
- 共産党はなぜ勝利し中華人民共和国が出現したのか？
国共内戦は中断せず、都市と農村の実態、日本軍に感謝する毛沢東



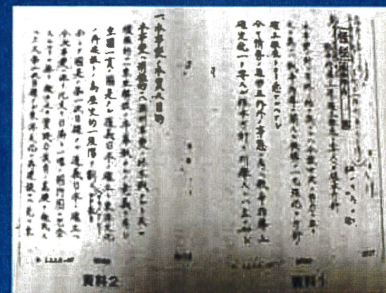
昭和23年(1948年)、京都府生まれ。京都大学文学部史学科(現代史)卒業、同大学院博士課程中途退学。三重大学助教授を経て立命館大学文学部教授。1981～1982年、ロンドン大学東洋アフリカ学院(SOAS)客員研究員。立命館大学名誉教授。法学博士(京都大学)。主な著書に『第一次国共合作の研究』(岩波書店)、『南京事件の探求』(文春新書)、『中国の正体』(PHP文庫)など多数。

八巻康成 (近現代史資料研究家)

資料報告 開戦四年前「東亞解放」を明記した陸軍文書

昭和12年盧溝橋に始まる支那事変に対して、翌13年6月陸軍参謀本部稲田正純陸軍大佐が(推察)、「戦争指導方針に関する根本方針」を作成した。それは蒋介石国民党政権を支えていた「援蒋ルート」を断ち、[アジアの解放]を目指すものであった。後の近衛声明にも大きな影響を与えたと思われる「稲田文書」を第1次資料を基に解き明かす。

昭和40年(1965年)、宮城県生まれ。東北学院大学法学部法律学科卒業。仙台市中央卸売市場・水産卸会社退職。今はアジア歴史資料センターの歴史資料発掘に没頭。「国の防人」に単著で論文投稿—第19号「陸軍から海軍に要望された真珠湾攻撃」、第22号「ガダルカナルの飛行場設営は偽装だったのか」など。



昭和13年に作られた「稲田文書」

日時 令和4年(2022年)10月9日(日) 午後1時30分開場 午後2時開演

会場 文京区民センター3階A会議室(東京都文京区本郷4-15-14)

東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園駅」5分 都営「春日駅」1分

会費 1,000円 予約必要ありません



アジア民主化運動
Asian Democratic Movement

主催 小島孝之(アジア民主化運動代表) 連絡先 03-5840-6460 090-2329-2352

E-mail: kasiademo@fij.tokyo HP [asian.or.jp] Twitter [@ADM_JAPAN]

YouTube「アジア民主化運動 小島孝之」カンパ先 みずほ銀行四谷支店 普通 2841209 アジア民主化実行委員会

後援 新しい歴史教科書をつくる会

賛同者(50音順) 荒岩宏奨(展転社代表取締役) 荒木和博(拓殖大学海外事情研究所教授)

小野寺彰(文京区の学校教育を考える会会長) 川端幸夫(集広舎代表) 込山久夫(新しい歴史教科書をつくる会東京支部長)

小林秀英(チベット問題を考える会代表) 齊藤文彦(東京郷友連盟) 佐藤和夫(英霊の名誉を守り顕彰する会代表)

鈴木信行(前葛飾区議会議員) 高池勝彦(新しい歴史教科書をつくる会会長) 藤岡信勝(通州事件アーカイブス設立基金代表)

藤田裕行(国際問題研究所所長) 村田春樹(今さら聞けない皇室研究会顧問) 茂木弘道(史実を世界に発信する会代表)